

日本一閑静な住宅地 戦国武将 高山右近の生誕のまち

大阪府 豊能町

■豊かな自然を楽しめる豊能町

豊能町は、大阪府の北部に位置し大阪市からおよそ30km。北に能勢町・京都府亀岡市、南に箕面市、東は茨木市、西は兵庫県川西市にそれぞれ隣接しています。



町域の約70%近くは山地で、中央にそびえる標高500～600m程の妙見山・光明山・天台山などの山々により、余野川流域を中心とする東部地域（南部地域を含む）と初谷川流域を中心とする西部地域に大きく二分されています。

東部地域の水道事業は、簡易水道3ヶ所により運営していましたが、平成18年度秋からは、大阪府営水道（現在は、大阪広域水道企業団）からの給水を開始しています。一方、西部地域は、一庫ダム（水資源機構管理）に水源を求め、池田市の古江浄水場に浄水委託し、昭和57年度より上水道として運営を行っています。

ツクシやミヤマヨメナなどの草花、モンシロチョウやカブトムシ、アキアカネなどの昆虫類、イノシシやシカなどの動物といった生命が四季を通じて躍動しています。そして、「豊能みかげ石」産出の石のまちとしても知られています。また、大阪みどり百選指定地もあり、ハイキングコースも多彩で、約450種の多彩な草花など豊かな自然を楽しみに来られる多くのハイカーや、起伏のある地形と美しい風景を求めて来られるサイクリストも急増しています。

■軍師「黒田官兵衛」も影響を受けた高山右近の生誕地

高山右近は、豊能町出身の戦国キリシタン大名で、茶人としても知られており、利休七哲の一人とされています。今から460年ほど前の1552年に豊能町の南部にある高山地区で生まれ、現在右近が生まれたとされる場所には、『高山右近生誕之地』の碑が建てられています。



「高山右近生誕の地」石碑

父、高山飛騨守、母マリアの男3人、女3人（男3人、女2人とも言われている）きょうだいの長男として生まれ、高山では5歳の時まで過ごしました。

父、高山飛騨守は、高山の地において先祖代々の土地の豪族として力をもっていました。松永久秀の家来として大和の国の沢城主（奈良県宇陀市）になったため、右近も沢に移りました。

右近は12歳の時、沢城に招かれてやってきたキリスト教の修道士ロレンソという人から話を聞き、キリスト教を信仰するようになり、17歳になった頃には高山親子は高槻城下に移り、21歳の時に父の跡を継いで高槻4万石の城主となり、豊能町の余野の城主で黒田氏の娘、ユスタ（またはジュスタ）と結婚します。そして、織田信長の家来となり、領内に20余りの教会を建て、布教に力を尽くしました。軍師「黒田官兵衛」も右近の影響から洗礼を受けた一人です。

1582年、本能寺の変で織田信長が明智光秀に討たれた後は、右近は豊臣秀吉（当時は羽柴秀吉）の家来となり、天王山の合戦、賤ヶ岳の合戦などに参戦しました。豊能町の余野には、先祖が賤ヶ岳の合戦で戦ったという記録が残っており、右近に従って戦ったも



高山右近銅像（高槻城）

のと思われます。右近33歳の頃、右近の領地は高槻から明石へ変更になり6万石を与えられ、明石の海の近くに船上城を築くとともに、教会を建設して布教に努めます。

1587年、豊臣秀吉により、「伴天連追放令」が發布されましたが、断固として信仰をあきらめなかったため、領地を失い追放されました。その後、

小豆島から熊本へ、そして1588年からは金沢の前田利家の下で25年間を過ごすことになり、前田利家と右近は、お茶の大家・千利休の弟子であり親友でもありました。

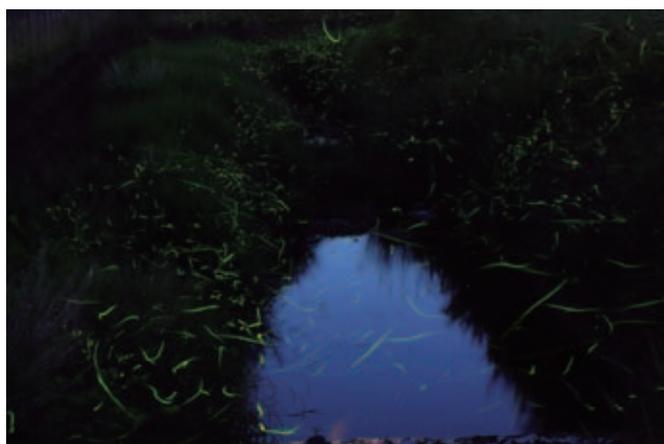
1614年、徳川家康が「伴天連追放令」を發布し、伴天連の国外追放とともにキリシタンの全面的禁圧が命じられ金沢から長崎まで旅を続け、1614年、右近一族は長崎で国外追放になりました。国外追放された右近一族は、フィリピンのマニラに到着しマニラ市民の熱烈な歓迎を受けましたが病にかかり、1615年2月、63歳で静かに息を引き取りました。2015年には、高山右近没後400年を迎えます。

ました。

平成27年2月には、町立西公民館において豊能町上水道創設及び公共下水道供用開始30周年記念事業として「写真でふりかえる豊能町上下水道30年の歴史と水の横顔」と題して写真展を開催しますので、ぜひご来場ください。



天空の棚田



ホタルの川

■町の水風景と歴史を伝える写真展

平成25年7月には、町の上下水道部が撮影して取り組んだ「“水”アラカルト写真展」を開催しました。

口径50mmのバルブを不断水で交換する「水道の男たち」と題した写真や、高山地区の美しい棚田の写真、余野川に乱舞する蛍の写真など39点を展示したところ、新聞にも大きく取り上げられ多くの来場者があり



水道の男たち

■豊能町イメージキャラクター とよのん

昨年度、豊能町の魅力を広く全国へPRするため、豊能町らしい特色・魅力を感じられるイメージキャラクターを募集したところ、全国から892体もの応募があり、その中から住民投票によって誕生したのが「とよのん」です。

とよのんの両耳は、町の花たんぼぼ、額には豊能町の「と」がデザインされています。

小さなお子さんから大人まで多くの方とのふれあいを大切に頑張っています。人気も上昇中！これからも応援よろしくネ。



©2013 豊能町とよのん